

試合中の用具、その他に関する事項 <全軟連競技者必携より>

1 季節や天候により、グラウンドコートを着用している場合アピール、選手交代などをするときには、その身分を明らかにする(背番号の確認)のために、コートを脱いで申し出ること。

2 ネックウォーマーの着用は季節を考慮し着用することができる。

3 試合に出場する捕手は、安全のためプロテクター、レガーズ、マスク(スロートガード付)、捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用すること。打者、次打者、走者及びベースコーチは、必ずヘルメットを着用のこと(ベースコーチを除き、いずれも公認された両側か片側にイヤフラップの付いたもの)。

なお、捕手用ヘルメットとマスクの一体製品は使用禁止する。

4 ダブルヘッダーに関する事項

1日2試合まで行うことができる。継続して行う場合は、試合終了後30分を目安に開始する。

5 試合中雷が発生した場合

状況を判断し、試合を中断して全員安全な場所に避難させ、气象台等の状況を掌握し、その後の処置を行う。

6 突発事故の際のタイムについて(5.12b3、b8関連)

試合中、プレーヤーの人命にかかわるような事態が発生した場合、人命尊重を第一に、プレイの進行中であっても、審判員の判断でタイムを宣告することができる。この際、その宣告によってボールデッドとならなかつたらプレイはどのようになったかを判断して、ボールデッド後の処置をとる。

7 打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けた時には、球審は攻撃側監督と協議し臨時代走の処置を行うことができる。